

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称：	ゆたか保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 鎌田 豊	定員（利用人数）：	60（63）名
所在地：	246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷1-1-3		
TEL：	045-300-1800	ホームページ：	<a href="http://www.yutaka-hoikuen.jp/">http://www.yutaka-hoikuen.jp/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2008年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 恵友福祉会		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員：	10名
専門職員	保育士 13名	栄養士	1名
	看護師 0名	調理員	3名
	用務員 0名		
施設・設備の概要	居室数: 乳児室2室、保育室4室、一時保育室1室、調理室、調乳室、沐浴・乳児用トイレ、幼児用トイレ、事務室、園長室、更衣室、障がい者用トイレ	設備等:	エレベーター、プール、冷暖房、床暖房、自動火災報知機、非常通報装置、駐車場

### ③理念・基本方針

#### 保育理念

子どもたちは、様々な経験をし未来へとつながっていく、社会で必要な人間力の基礎をバランスよく身につける。

#### 保育方針

児童の福祉を守り、心身の調和的な発達のために、子どもたちの生活や環境をふまえて適切な養護と教育を行う。

④施設・事業所の特徴的な取組

ゆたか保育園は、広い園庭を挟んで同じ系列の幼稚園があり、子どもたちは走ったり、ボール遊びをしたりして、思い切り体を動かしています。またお店屋さんごっこの見学、七夕の笹もやしなどの行事や日々の遊びの中で、職員や子どもたちとの交流があります。さらに近隣には広大な栽培園を持ち、土づくりから種まき、水やりなどのお世話をし収穫も楽しめます。じゃが芋やさつま芋、大根などの収穫体験も行います。たくさん収穫し、給食室にお願いし給食に出してもらったり、お土産に持ち帰ったりして、保護者もともに楽しんでます。ほかにもスイカやキュウリ、トマト、とうもろこし、枝豆など一年を通じてさまざまな野菜を育てています。収穫時には、土の中の幼虫を観察したり、野菜や土のにおいや感触を楽しんだりしています。このように子どもが自然に触れながら、五感を使ってのびのびと遊べる環境づくりに取り組んでいます。さらに園舎内では、はだし保育を実施し、足裏の感触も大切にしています。園バスで市民の森や大きな公園に出かけることもあります。のびのびと遊び、そして子どもの成長には食事が大切と考え、食育にも力を入れています。給食は天然の味と素材を大切に、栽培園からの新鮮な野菜や安全な食材を使ってバランスの良い食事を手作りして提供しています。自由遊びの時間も多く、子ども一人ひとりが安心して自分らしさを発揮できる生活環境を整え、互いの違いを認め合いながら協力し合い、子ども自身が考え、迷い、決めていくというプロセスを大切にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月23日 (契約日) ~ 2022年9月22日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	2 回 ( 2017 年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆自然との触れ合いの中で子どもの主体性を大切にした保育を実践しています

園の保育目標として「元気にあいさつができ、人と触れ合う中で思いやりの心が育つ」「友だちといろいろな遊びを体験する」「自分で考え、行動できるようになる」などをあげています。隣接する幼稚園と共有する広大な園庭で元気に遊び、また栽培園では土に触れ昆虫に興味を持ち、じゃが芋やさつま芋、大根などの収穫体験をするなど、さまざまな野菜の栽培から収穫までを通して食育にも力を入れています。日常の保育では、言葉を大切に、乳幼児期から温かい言葉「ふわふわ言葉」の心地良さを体験することで、思いやりの心を育てています。このような環境の中、一人ひとりの子どもが自分で遊びを見つけ、のびのびと主体的に活動しています。

◆将来を見越した事業運営のため、中長期計画の作成を望みます

当園は、保育所に求められるニーズの動向や政策の方向性を踏まえて事業運営に取り組んでいます。ニーズは、横浜市が行ったニーズ調査で傾向を把握するほか、日ごろの子どもや保護者とのかかわりの中で把握し、事業に生かしています。また、加入している事業者団体から国の政策動向を把握するとともに、「横浜市子ども・子育て支援事業計画」から、市の保育政策の方向性を把握しています。収集した情報は、職員と共有するとともに事業計画に反映して実践しています。事業計画は、ニーズの動向や政策の方向性を踏まえた内容となっていますが、より中長期的な視点が事業に反映されるよう、今後、中長期計画を作成されることを望みます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を受審して、自分達では気付けなかった良い部分の気付きや課題、ご意見を頂き、普段行っている自己評価だけでは見えない部分の振り返りが出来ました。

日々子ども達との生活を第一に、丁寧に過ごす事を全員で意識しながら、これからも安心して預けられる保育園でいられるように、今回の結果を生かしたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり